

RULE 京都橘大学人権侵害防止に関するガイドライン

I. ガイドライン制定の趣旨

本学は、「自立・共生・臨床の知」という教学理念および日本国憲法、教育基本法、男女雇用機会均等法、労働基準法等に則り、男女平等を尊重し、学習、研究、労働の権利を保障し、人権侵害のない環境をめざして、このガイドラインを定めます。

II. 本学と構成員の責務

学長は、このガイドライン及び「京都橘大学人権委員会に関する規程」を定め、「人権委員会」を設置し、その委員を任命します。

人権委員会は、人権侵害の防止・対応並びに人権啓発に関する全学的な施策を策定し、その実施について学長が責任を負います。

本学構成員は、このガイドラインの趣旨を理解し、相互に人格を尊重し、人権侵害の防止に努めなければなりません。

III. 人権侵害の定義

人権侵害とは、日本国憲法第14条に「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と規定されているように、法の下での平等の侵害、思想・信条・良心の自由及び言論の自由に対する差別的取り扱い、プライバシーの侵害、相手の意に反する性的言動や身体的接触、その他基本的人権を侵害するような取り扱いにより相手の尊厳を傷つける行為をいいます。

セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、インターネットや携帯電話を用いた誹謗、中傷なども人権侵害行為です

IV. ガイドラインの対象・適用範囲

- (1) 本学の構成員である教職員（専任・非常勤など勤務形態を問わない）及び学生（大学院生・学部生・留学生・研究生・科目等履修生、公開講座の受講生など本学で教育を受ける者）のすべてをこの適用対象とします。
- (2) 本学の構成員相互間において起こった人権侵害行為については、学内外、授業・課外活動、勤務時間の内外、それらが起こった場所・時間帯を問わずこれを適用します。
- (3) 卒業生及び退職した教職員についても在学・在職中に起こった過去の被害については、これを適用します。
- (4) 本学の構成員の学外者に対する人権侵害行為については、当事者間に就労・就学等の利害関係のある場合に限りこれを適用します。

V. 人権侵害の防止

人権委員会は、「京都橘大学人権委員会に関する規程」に

則り、人権侵害を防止するために、以下のような活動を行います。

- (1) 人権侵害防止のためのパンフレットやポスターの作成。
- (2) 学生・教職員に対する啓発活動。
- (3) 管理職に対する特別研修。
- (4) 人権侵害の加害者に対する特別研修。
- (5) 人権侵害の概要の公表など情報の提供。なお、公表に際しては、当事者のプライバシーを侵害しないよう配慮します。

VI. 人権侵害への対応

(1) 相談窓口

人権侵害を受けた本学構成員は、相談窓口の人権相談員に相談することができます。相談窓口は以下の所に設けます。

- ・ 学生相談室
- ・ 医務室
- ・ 教職員の人権相談員（半数以上は女性）

相談は本人、代理人又は友人によってすることができます。

相談は面談だけでなく、手紙・電話・電子メールなどでも受け付けます。人権相談員への連絡方法はパンフや掲示板等に表示します。

人権相談員は相談者の悩みを聞き、相談者のとるべき方法（苦情処理の申し立てまたは調査の請求）について、必要な相談に応じます。また、カウンセリングなどの手配をすることもできます。

(2) 相談後の手続き

人権相談員は、相談を受けた時は、人権委員会の委員長に報告します。

人権委員会の委員長は、相談者の意向を聞き、苦情処理の申し立てを行う場合は、その手続き（改善措置または調停）を行い、その結果を学長に報告します。

相談者が調査請求を行う場合は、ただちに学長に報告します。

(3) 苦情処理の申し立て

人権委員会の委員長は、相談者が苦情処理の申し立てを希望する場合、必要に応じて人権救済委員会を設置し、改善措置または調停の手続きを行います。また緊急性が認められるときは、臨時的措置として、被申立人に対しただちに当該行為をやめるよう勧告することができます。

(a) 改善措置

改善措置とは、比較的軽微な人権侵害につき、人権救済委員会が、被申立人への注意等で解決する手続きをいいます。

人権救済委員会は、当事者双方の事情聴取を行った上で、申立人が希望しかつ人権救済委員会が改善措置相当と判断する場合は、被申立人に対し勧告するなど改善措置を行います。この場合、人権救済委員会は改善措置の内

容を人権委員会に報告し、人権委員会は学長に報告します。

(b) 調停

調停とは、人権侵害を当事者双方の話し合いで解決する手続です。

人権救済委員会は、当事者双方から事情聴取を行った上で、申立人が調停を希望し、かつ人権救済委員会が調停相当と判断する場合は、調停を行います。

人権救済委員会は、調停が成立したとき、合意事項を文書に作成し、人権委員会に報告し、人権委員会は学長に報告します。

なお、本学としての措置が必要な場合には、人権委員会が対応策を付して、学長に報告します。

(4) 申し立ての取り下げ・不成立による終了

人権委員会ならびに人権救済委員会の委員は、申立人の救済を優先し、被害の揉み消しをはかるようなことをしてはなりません。

上記委員がこれに反した場合には、申立人は当該委員の交替、または苦情処理の申し立ての取り下げ・不成立を申し出ることができます。

申立人はいつでも改善措置または調停の取り下げをすることができます。

人権救済委員会は、相当な期間が経過しても合意が成立する見込みがないときは、人権委員会に報告の上、改善措置または調停を不成立として終了させることができます。

被申立人は、正当な理由がない限り、人権救済委員会または人権委員会が行う事情聴取や改善措置、調停の手続き等を拒否することができません。

Ⅶ. 調査の請求

(1) 調査請求

調査請求による調査とは、次のような場合に、学長が「人権調査委員会」を設置して、事実関係の調査を行うことをいいます。

- (a) 申立人が調査を請求する場合
 - (b) 人権委員会が、改善措置が困難と判断した場合
 - (c) 調停が不成立に終わった場合
- (b) (c) の場合は申立人の同意を得て行います。

(2) 人権調査委員会

人権調査委員会は、客観性・中立性・公平性を確保するために、必要に応じて外部から弁護士などを委員に加えることができます。ただし、その事例を取り扱った人権相談員は委員になることができません。

人権調査委員会は、当事者及び関係者から事情を聴取し、事実関係を明らかにします。この場合、関係者の名譽・プライバシーなどに注意を払わなければなりません。

(3) 調査の終了

人権調査委員会は、原則として2ヶ月以内に調査を終了し、調査結果をただちに人権委員会に報告します。

人権委員会は、必要な場合には、さらに当事者の意見を聴取することができます。

人権委員会は、人権調査委員会の報告及び本委員会の調査に基づき、当該事実が人権侵害に該当するか否かの判断を行います。

人権委員会は当該事実が人権侵害であると認定した場合には、本学として適切な措置がとられるよう、その対応策を付して学長に報告します。

Ⅷ. 学長・部長・事務局長等のとるべき措置

(1) 学長は、人権委員会から報告を受けたときは、当該学部・事務局・各部（教員・学生が対象となる場合には学部、事務職員が対象となる場合には事務局、学外者が対象となる場合には該当する部）に対して、被申立人への対応及び関連する措置についての検討を要請します。

(2) 当該学部・事務局・各部は被申立人への対応、学習・研究環境や労働環境等の環境改善策を検討し、学長に報告します。

(3) 学長は当該学部・事務局・各部の意見を尊重し、必要な場合には理事会に報告し、法人としての対応を要請します。

(4) 学長または理事長は、被申立人の人権侵害が認定された時には、学則・就業規則等に基づき適切な処分を決定します。処分決定の過程で、必要な場合には、被申立人の意見を表明する機会を保障します。

(5) 学長は、本学としての措置を、当事者に告知します。なお、公表が相当と認められる場合には、当事者の人権に配慮した上で措置及びその理由を学内に公表することができます。

Ⅸ. その他

(1) 人権侵害の被害者に対して、本学は救済措置をとるよう努力します。

(2) 人権侵害について相談窓口の人権相談員に相談したり、苦情処理の申し立て、調査請求をしたことを理由として不利益な扱いを被ることはありません。

(3) 人権侵害の相談や苦情処理の申し立て、調査請求をしたことに対して、被申立人が報復をすることを禁じます。もし、報復行為がなされた場合には、本学として、必要な措置をとります。

(4) 人権侵害別の相談・苦情処理・調査に際して、虚偽の申し立てや偽証をすることを禁じます。

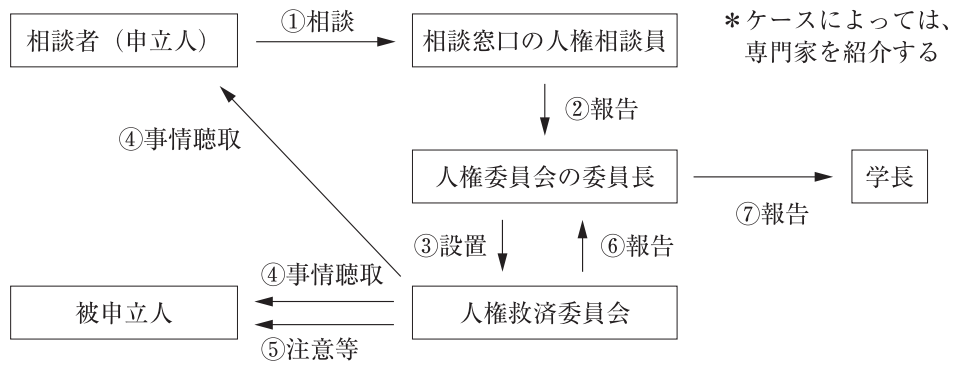
(5) 人権相談員、人権委員会の委員、人権救済委員会の委員及び人権調査委員会の委員は人権侵害に関する職務上知り得た秘密を他人に漏らしてはなりません。任期を終えた後も同様です。

(6) このガイドラインは、必要が生じた場合、見直し・改訂を行うものとします。

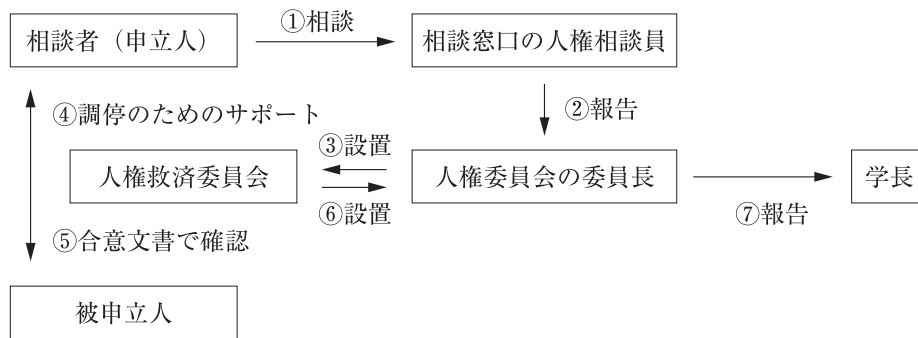
このガイドラインは2008年7月28日から施行します。

このガイドラインの施行をもって、「京都橘大学セクシュアル・ハラスメントに関するガイドライン」は廃止します。

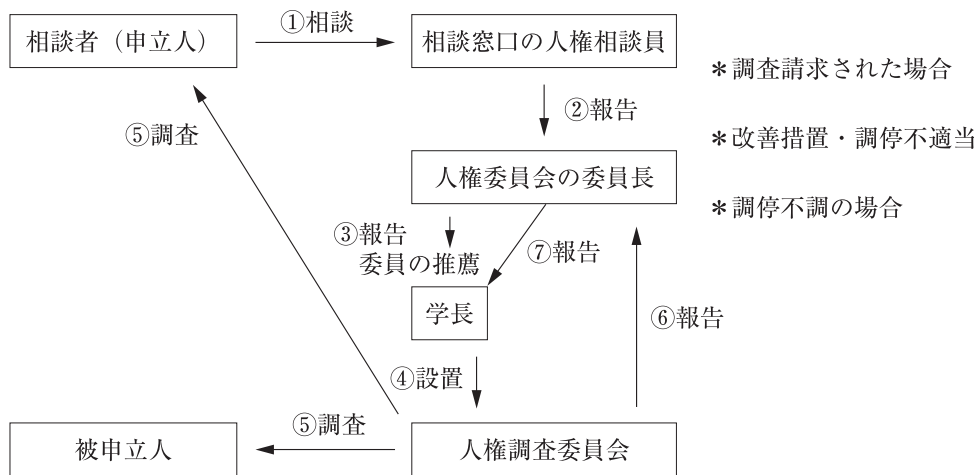
第1段階：苦情処理の申し立て（改善措置の手続き）



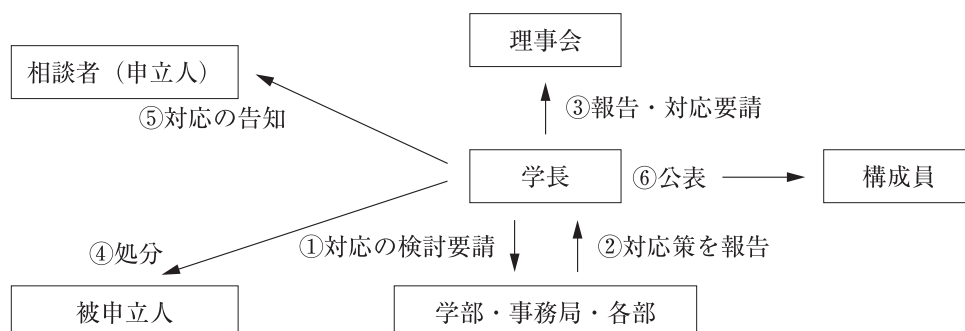
第2段階：苦情処理の申し立て（調停の手続き）



第3段階：調査請求の手続き



対応：学長・部局長等のとるべき措置



別添資料7 臨床心理士・公認心理師資格取得のための時間割（案）と実習参加状況

【1年次】

【1年次前期】

講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	臨床心理基礎実習①	臨床心理学特論	産業・労働心理学特論			健康科学特別研究Ⅰ
2	臨床心理基礎実習②				発達心理学特論	研究倫理学特論
3		心理統計学特論			【前半】臨床心理査定演習Ⅰ① 【後半】臨床心理査定演習Ⅱ①	
4				臨床心理学面接特論Ⅰ	【前半】臨床心理査定演習Ⅰ② 【後半】臨床心理査定演習Ⅱ②	
5			【隔週】健康科学特論Ⅰ①	健康心理学特論		
6			【隔週】健康科学特論Ⅰ②			【通年不定期開講】 <心理実践実習Ⅰ>

【1年次後期】

講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	臨床心理基礎実習①	臨床心理学特論				健康科学特別研究Ⅰ
2	臨床心理基礎実習②			グループアプローチ特論	思春期臨床心理学特論	
3						
4				臨床心理学面接特論Ⅱ	司法・犯罪心理学特論	
5			【隔週】健康科学特論Ⅱ①	発達障害特論		
6			【隔週】健康科学特論Ⅱ②			【通年不定期開講】 <心理実践実習Ⅰ>

【1年次における実習に関わる科目】

■心理実践実習Ⅰ（通年、4単位） ■臨床心理基礎実習（通年、2単位）

【学内外の実習】 ※上記科目担当教員による事前事後指導等除く

施設名等	主な内容	1年次前期					1年次後期					対応科目			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月	
心理臨床センター (学内施設)	基本業務実習							毎週	×1.5時間程度						心理実践実習Ⅰ
	陪席			1・2例											臨床心理基礎実習
	インターク・心理面接 カンファレンス等								毎週1・2例程度						心理実践実習Ⅰ
学外施設	見学							1日						1日	臨床心理基礎実習
	参加実習（保健医療）												7時間×5日		心理実践実習Ⅰ

【2年次】

【2年次前期】

講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1						
2						健康科学特別研究Ⅱ①
3						健康科学特別研究Ⅱ②
4						【通年不定期開講】 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)
5				健康心理学特論		【通年不定期開講】 臨床心理実習B ※土曜日を中心に開講
6		生活支援学特論		精神医学特論		

【2年次後期】

講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1						
2						健康科学特別研究Ⅱ①
3						健康科学特別研究Ⅱ②
4						【通年不定期開講】 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)
5						【通年不定期開講】 臨床心理実習B ※土曜日を中心に開講
6						

【2年次における実習に関わる科目】

■臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) (通年、6単位) ■臨床心理実習B(通年、1単位)

【学内外の実習】 ※上記科目担当教員による事前事後指導等除く

施設名等	主な内容	2年次前期					2年後前期					対応科目		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
心理臨床センター (学内施設)	セミナー参加						月に1回×2~6時間							臨床心理実習B
	インターク・心理面接						平均して毎週1~2例程度							
	カンファレンス等			毎週2日×1.5時間程度(カンファレンス・集団スーパービジョンでの報告・参加)										
学外施設	参加実習(保健医療)					7時間×15日								臨床心理実習A (心理実践実習Ⅱ)
	参加実習(教育)				5時間×3日									
	参加実習(その他)	5時間×3日												

別添資料8 博士前期課程 長期履修モデル
(理学療法学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			履修年次						
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	1前	2			2						
	健康科学特論Ⅱ	1後	2				2					
	研究倫理学特論	1前	2			2						
	健康科学研究法特論Ⅰ	1前		2		2						
	健康科学研究法特論Ⅱ	1後		2								
	心理統計学特論	1・2前		2								
	脳科学特論	1・2前		2				2				
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2				2				
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2								
	救急医学特論	1・2前		2								
	精神薬理学特論	1・2前		2								
	生活支援学特論	1・2前		2				2				
	運動機能学特論	1・2前		2				2				
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2								
小計(14科目)		—	6	22	0	8		8		0		
専門領域科目	理学療法学領域	a群	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後	2			2				
			生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後	2			2				
		b群	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	1後	2							
			運動器障害理学療法学特論Ⅱ	1後	2							
		c群	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後	2							
			脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後	2							
	小計(6科目)		—	0	12	0	4		0		0	
	心理学領域	a群	発達心理学特論	1前	2							
			認知心理学特論	1後	2			2				
			学習・行動分析学特論	1後	2							
b群		組織心理学特論	1前	2								
		社会心理学特論	1後	2								
		社会調査特別演習	1後	2								
		司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後	2								
		産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1前	2								
小計(8科目)		—	0	16	0	2		0		0		

専門領域科目	救急救命学領域	救急救護学特論	1前	2							
		救急救護学特論演習	1後	2							
		災害・防災学特論	1後	2							
		救急救命システム特論	1後	2							
		小計（4科目）	—	0	8	0	0	0	0		
	臨床心理士特修領域	a群	臨床心理学特論	1通	4						
			臨床心理学面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2						
			臨床心理学面接特論Ⅱ	1後	2						
			臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2						
			臨床心理査定演習Ⅱ	1前	2						
			臨床心理基礎実習	1通	2						
			心理実践実習Ⅰ	1通	4						
			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	2通	6						
		臨床心理実習B	2通	1							
		b群	分析心理学特論	1後	2						
思春期臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後		2								
グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後		2								
小計（12科目）			—	0	31	0	0	0	0		
研究演習	健康科学特別研究Ⅰ	1通	2			2					
	健康科学特別研究Ⅱ	2通	6						6		
	小計（2科目）	—	8	0	0	2	0	6			
合計						16	8	6			

単位数合計	30
-------	----

(臨床心理学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			履修年次					
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	1前	2			2					
	健康科学特論Ⅱ	1後	2				2				
	研究倫理学特論	1前	2			2					
	健康科学研究法特論Ⅰ	1前		2							
	健康科学研究法特論Ⅱ	1後		2							
	心理統計学特論	1・2前		2							
	脳科学特論	1・2前		2							
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2							
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2							
	救急医学特論	1・2前		2							
	精神薬理学特論	1・2前		2							
	生活支援学特論	1・2前		2				2			
	運動機能学特論	1・2前		2							
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2							
小計(14科目)	—	6	22	0	6	2	0	0	0	0	
専門領域科目	理学療法学領域	a群	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2					
			生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2					
		b群	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2					
			運動器障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2					
		c群	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2					
			脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2					
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	
	心理学領域	a群	発達心理学特論	1前		2	2				
			認知心理学特論	1後		2					
			学習・行動分析学特論	1後		2					
b群		組織心理学特論	1前		2						
		社会心理学特論	1後		2						
		社会調査特別演習	1後		2						
		司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後		2		2				
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1前		2								
小計(8科目)	—	0	16	0	4	0	0	0	0		

専門領域科目	救急救命学領域	救急救護学特論	1前	2							
		救急救護学特論演習	1後	2							
		災害・防災学特論	1後	2							
		救急救命システム特論	1後	2							
		小計（4科目）	—	0	8	0	0	0	0		
	臨床心理士特修領域	a群	臨床心理学特論	1通	4		4				
			臨床心理学面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2		2				
			臨床心理学面接特論Ⅱ	1後	2			2			
			臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2		2				
			臨床心理査定演習Ⅱ	1前	2		2				
			臨床心理基礎実習	1通	2		2				
			心理実践実習Ⅰ	1通	4						
			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	2通	6				6		
		臨床心理実習B	2通	1				1			
		b群	分析心理学特論	1後	2						
思春期臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後		2			2					
グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後		2								
小計（12科目）			—	0	31	0	16	7	0		
研究演習	健康科学特別研究Ⅰ	1通	2			2					
	健康科学特別研究Ⅱ	2通	6						6		
	小計（2科目）	—	8	0	0	2	0	6			
合計							28	9	6		

単位数合計	43
-------	----

(心理学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			履修年次						
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	1前	2			2						
	健康科学特論Ⅱ	1後	2				2					
	研究倫理学特論	1前	2			2						
	健康科学研究法特論Ⅰ	1前		2								
	健康科学研究法特論Ⅱ	1後		2								
	心理統計学特論	1・2前		2		2						
	脳科学特論	1・2前		2				2				
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2								
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2								
	救急医学特論	1・2前		2								
	精神薬理学特論	1・2前		2								
	生活支援学特論	1・2前		2				2				
	運動機能学特論	1・2前		2				2				
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2								
小計(14科目)		—	6	22	0	8		6		0		
専門領域科目	理学療法学領域	a群	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2						
			生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2						
		b群	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2						
			運動器障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2						
		c群	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2						
			脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2						
	小計(6科目)		—	0	12	0	0		0		0	
	心理学領域	a群	発達心理学特論	1前		2	2					
			認知心理学特論	1後		2		2				
			学習・行動分析学特論	1後		2		2				
b群		組織心理学特論	1前		2							
		社会心理学特論	1後		2		2					
		社会調査特別演習	1後		2							
		司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後		2							
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1前		2									
小計(8科目)		—	0	16	0	8		0		0		

専門領域科目	救急救命学領域	救急救護学特論	1前	2							
		救急救護学特論演習	1後	2							
		災害・防災学特論	1後	2							
		救急救命システム特論	1後	2							
		小計（4科目）	—	0	8	0	0	0	0		
	臨床心理士特修領域	a群	臨床心理学特論	1通	4						
			臨床心理学面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2						
			臨床心理学面接特論Ⅱ	1後	2						
			臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2						
			臨床心理査定演習Ⅱ	1前	2						
			臨床心理基礎実習	1通	2						
			心理実践実習Ⅰ	1通	4						
			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	2通	6						
			臨床心理実習B	2通	1						
		b群	分析心理学特論	1後	2						
			思春期臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後	2						
			グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後	2						
				小計（12科目）	—	0	31	0	0	0	0
		研究演習	健康科学特別研究Ⅰ	1通	2			2			
健康科学特別研究Ⅱ	2通		6						6		
小計（2科目）	—		8	0	0	2	0	6			
合計						18	6	6			

単位数合計	30
-------	----

(救急救命学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			履修年次							
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	1前	2			2							
	健康科学特論Ⅱ	1後	2				2						
	研究倫理学特論	1前	2			2							
	健康科学研究法特論Ⅰ	1前		2		2							
	健康科学研究法特論Ⅱ	1後		2									
	心理統計学特論	1・2前		2									
	脳科学特論	1・2前		2									
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2				2					
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2		2							
	救急医学特論	1・2前		2		2							
	精神薬理学特論	1・2前		2									
	生活支援学特論	1・2前		2									
	運動機能学特論	1・2前		2				2					
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2									
	小計(14科目)		—	6	22	0	12		4		0		
専門領域科目	理学療法学領域	a群	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2							
			生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2							
		b群	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2							
			運動器障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2							
		c群	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2							
			脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2							
	小計(6科目)		—	0	12	0	0		0		0		
	心理学領域	a群	発達心理学特論	1前		2							
			認知心理学特論	1後		2							
			学習・行動分析学特論	1後		2							
b群		組織心理学特論	1前		2								
		社会心理学特論	1後		2								
		社会調査特別演習	1後		2								
		司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後		2								
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1前		2										
小計(8科目)		—	0	16	0	0		0		0			

専門領域科目	救急救命学領域	救急救護学特論	1前	2		2					
		救急救護学特論演習	1後	2			2				
		災害・防災学特論	1後	2			2				
		救急救命システム特論	1後	2							
		小計（4科目）	—	0	8	0	6	0	0		
	臨床心理士特修領域	a群	臨床心理学特論	1通	4						
			臨床心理学面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2						
			臨床心理学面接特論Ⅱ	1後	2						
			臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2						
			臨床心理査定演習Ⅱ	1前	2						
			臨床心理基礎実習	1通	2						
			心理実践実習Ⅰ	1通	4						
			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	2通	6						
			臨床心理実習B	2通	1						
		b群	分析心理学特論	1後	2						
思春期臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後		2								
グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後		2								
小計（12科目）		—	0	31	0	0	0	0			
研究演習	健康科学特別研究Ⅰ	1通	2			2					
	健康科学特別研究Ⅱ	2通	6				0	6			
	小計（2科目）	—	8	0	0	2	0	6			
合計						20	4	6			

単位数合計	30
-------	----

別添資料9 専任教員時間割表(案)

上北 朋子

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する【

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前期	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2						健康科学特別研究Ⅱ①
	3			卒業研究Ⅰ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後期	1				学習・行動分析学特論		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2						健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)		行動分析学		健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)		こころの脳科学		
	5		行動科学特論演習※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

菅野 信夫

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2						健康科学特別研究Ⅱ①
	3			卒業研究Ⅰ(心理)		【前半】臨床心理査定演習Ⅰ①※ 【後半】臨床心理査定演習Ⅱ①※	健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)		【前半】臨床心理査定演習Ⅰ②※ 【後半】臨床心理査定演習Ⅱ②※	
期	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2				心理演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)				健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)				
期	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		健康回復支援科学特論演習C※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

久保山 一敏

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1		救急症候学Ⅰ(外傷①)		救急症候学Ⅱ(外傷②)		
	2				臨床医学総論		
	3		神経障害基礎論※				
	4						
期	5	脳科学特論※				救急医学特論※	
	6		【前半】Scientific English※				

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1	人体の構造と機能及び疾病	環境障害				
	2	救急処置各論Ⅱ(災害)※	救急症候学Ⅴ(顔面・頭部)				
	3						
	4						
期	5		救急救護学特論演習※				
	6	災害・防災学特論※					

兒玉 隆之

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせ、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2				中枢神経障害理学療法応用演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3						健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5	脳科学特論※	神経障害基礎論※	【隔週】健康科学特論Ⅰ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		【後半】健康科学イノベーション特論※	【隔週】健康科学特論Ⅰ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1		中枢神経障害理学療法基礎演習		リハビリテーション概論(理学)※		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		中枢神経障害理学療法基礎演習		リハビリテーション概論(理学)※		健康科学特別研究Ⅱ①
	3		理学療法技術学Ⅱ(神経障害)				健康科学特別研究Ⅱ②
期	4		理学療法技術学Ⅱ(神経障害)				
	5	脳機能障害理学療法特論Ⅰ※		【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		健康回復支援科学特論演習A※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2	心理学概論Ⅰ					健康科学特別研究Ⅱ①
	3			卒業研究Ⅰ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)	心理学特殊講義		【隔週】特別研究Ⅱ
期	5	脳科学特論※		【隔週】健康科学特論Ⅰ①※ 【隔週】健康科学実践研究法特論※	【隔週】特別研究Ⅲ		【隔週】特別研究Ⅱ
	6			【隔週】健康科学特論Ⅰ②※	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2						健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)		行動分析学	生理心理学	健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)				
期	5		行動科学特論演習※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

崎田 正博

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2			キャリア開発演習Ⅰ(理学)	発達障害基礎論(理学)※		健康科学特別研究Ⅱ①
	3						健康科学特別研究Ⅱ②
期	4	地域課題研究(理学)※	発達障害系理学療法学基礎演習				
	5	地域課題研究(理学)※	運動機能学特論※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1		発達障害系理学療法学応用演習		理学療法技術学Ⅴ(発達障害)		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		発達障害系理学療法学応用演習				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	人間発達学(理学)※					健康科学特別研究Ⅱ②
期	4				運動生理学演習		
	5		生体機能学特論演習※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	生活機能障害理学療法学特論Ⅱ※		【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

柴田 利男

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前期	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		心理学基礎研究Ⅰ※		発達心理学Ⅰ	発達心理学特論	健康科学特別研究Ⅱ①
	3			卒業研究Ⅰ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後期	1			教育・学校心理学			健康科学特別研究Ⅰ
	2			心理学基礎研究Ⅱ※			健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)			健康科学研究法特論Ⅱ	健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)		発達心理学Ⅱ		
	5						
	6		健康回復支援科学特論演習C※				

関根 和弘

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1			こころからだの健康科学Ⅰ※			【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		救急救命実習Ⅲ				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	救急救命実習Ⅰ	救急救命実習Ⅲ		救急疾病Ⅰ(呼吸器・循環器系)※		健康科学特別研究Ⅱ②
期	4	救急救命実習Ⅰ	救急救命実習Ⅲ		救急疾病Ⅰ(呼吸器・循環器系)※		
	5	救急救命実習Ⅰ		【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		救急救命実習Ⅲ				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	救急救命実習Ⅰ	救急救命実習Ⅲ				健康科学特別研究Ⅱ②
期	4	救急救命実習Ⅰ	救急救命実習Ⅲ				救急救命システム特論※
	5	救急救命実習Ⅰ	救急救護学特論演習※	【隔週】健康科学特論Ⅱ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	災害・防災学特論※	健康・生活支援科学特論演習C※	【隔週】健康科学特論Ⅱ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前 期	1	臨床心理基礎実習①※		産業・労働心理学特論※			【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2	臨床心理基礎実習②※		自己表現研究Ⅰ			健康科学特別研究Ⅱ①
	3	関係行政論※		卒業研究Ⅰ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後 期	1	臨床心理基礎実習①※	臨床心理学特論※				【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2	臨床心理基礎実習②※	こことからだの健康科学Ⅱ※	自己表現研究Ⅱ	グループアプローチ特論		健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)				健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)				
	5			【隔週】健康科学特論Ⅱ①※			
	6			【隔週】健康科学特論Ⅱ②※			

永野 光朗

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前期	1			こころからの健康科学Ⅰ※			【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		心理学基礎研究Ⅰ※	心理学統計法Ⅲ(多変量解析)			健康科学特別研究Ⅱ①
	3			卒業研究Ⅰ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後期	1					消費者行動論	【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		社会心理学特論	心理学基礎研究Ⅱ			健康科学特別研究Ⅱ①
	3	心理学概論Ⅱ	卒業研究Ⅱ(心理)				健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)			マーケティング調査演習	
	5					地域課題研究(心理)※	
	6						

西本 泰久

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1					救急救命実習Ⅳ	【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2					救急救命実習Ⅳ	健康科学特別研究Ⅱ①
	3		救急処置各論Ⅰ(薬理)※			救急救命実習Ⅳ	健康科学特別研究Ⅱ②
	4		救急症候学Ⅵ(ショック・意識)				
期	5		【後半】医学・健康教育特論※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ	救急医学特論※	
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ	救急救護学特論※	

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1					救急救命実習Ⅳ	【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2					救急救命実習Ⅳ	健康科学特別研究Ⅱ①
	3		救急疾病Ⅱ(呼吸器・循環器系)			救急救命実習Ⅳ	健康科学特別研究Ⅱ②
	4						救急救命システム特論※
期	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		健康・生活支援科学特論演習C※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

平出 敦

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する【

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		救急救命実習Ⅲ			人体の構造と機能演習Ⅰ	健康科学特別研究Ⅱ①
	3		救急救命実習Ⅲ			人体の構造と機能演習Ⅰ	健康科学特別研究Ⅱ②
	4		救急救命実習Ⅲ			救急症候学Ⅲ(呼吸・消化・神経)※	
期	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ	救急救護学特論※	

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		救急救命実習Ⅲ			人体の構造と機能演習Ⅱ	健康科学特別研究Ⅱ①
	3		救急救命実習Ⅲ			人体の構造と機能演習Ⅱ	健康科学特別研究Ⅱ②
	4		救急救命実習Ⅲ				
期	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ	解剖生理学	
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

堀江 淳

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前期	1	内部障害基礎論※					【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		ヘルスポーション理学療法基礎演習※				健康科学特別研究Ⅱ①
	3						健康科学特別研究Ⅱ②
	4		内部障害系理学療法基礎演習				
	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	健康科学研究法特論Ⅰ※	【後半】健康科学イノベーション特論※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後期	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		内部障害系理学療法学応用演習				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	理学療法技術Ⅲ(内部障害)	内部障害系理学療法学応用演習				健康科学特別研究Ⅱ②
	4				運動生理学演習		
	5	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ※		【隔週】健康科学特論Ⅱ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		健康・生活支援科学特論演習A※	【隔週】健康科学特論Ⅱ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

松下 幸治

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前 期	1	臨床心理基礎実習①※	臨床心理学特論※				【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2	臨床心理基礎実習②※		自己表現研究Ⅰ		対人援助論	健康科学特別研究Ⅱ①
	3			卒業研究Ⅰ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後 期	1	臨床心理基礎実習①※					【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2	臨床心理基礎実習②※	臨床心理学概論※	自己表現研究Ⅱ	心理演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)		分析心理学特論		健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)		臨床心理学面接特論Ⅱ		
	5						
	6						

村田 伸

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		ヘルスプロモーション理学療法基礎演習 ※				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	老年期障害理学療法学演習	地域理学療法学※				健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5			【隔週】健康科学特論Ⅰ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		【前半】生活支援学特論※ 【後半】健康科学イノベーション特論 ※	【隔週】健康科学特論Ⅰ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2				地域理学療法学演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3	人間発達学(理学)※					健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5			【隔週】健康科学特論Ⅱ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	脳機能障害理学療法学特論Ⅱ※		【隔週】健康科学特論Ⅱ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

大久保 千恵

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前 期	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)					
	2			自己表現研究 I		○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習 I ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習 A (心理実践実習 II) ・臨床心理実習 B	
	3			卒業研究 I (心理)			
	4			卒業研究 III (心理)	カウンセリング		
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後 期	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)	公認心理師の職責※				
	2			自己表現研究 II	心理演習	○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習 I ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習 A (心理実践実習 II) ・臨床心理実習 B	
	3		卒業研究 II (心理)				
	4		卒業研究 IV (心理)		教育相談(中等)		
	5				発達障害特論※		
	6						

甲斐 義浩

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1				動作分析学演習※		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2			キャリア開発演習Ⅰ(理学)			健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅰ		健康科学特別研究Ⅱ②
	4				運動療法学		
期	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	健康科学研究法特論Ⅰ※		【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1					運動学(理学)※	【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2			キャリア開発演習Ⅱ(理学)			健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅱ	臨床運動学演習	健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	運動器障害理学療法学特論Ⅱ※		【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

岸 太一

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)	臨床心理学特論※				【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		心理学基礎研究Ⅰ※		○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習Ⅰ	健康科学特別研究Ⅱ①	
	3			卒業研究Ⅰ(心理)		健康科学特別研究Ⅱ②	
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
期	5		医学・健康教育特論※	【隔週】健康科学特論Ⅰ①※ 【隔週】健康科学実践研究法特論※	健康心理学特論		
	6			【隔週】健康科学特論Ⅰ②※			

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)					【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		臨床心理学概論※		○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習Ⅰ	健康科学特別研究Ⅱ①	
	3		卒業研究Ⅱ(心理)			健康科学特別研究Ⅱ②	
	4		卒業研究Ⅳ(心理)				
期	5				発達障害特論※		
	6		健康・生活支援科学特論演習B※				

ジェイムス 朋子

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
前 期	1				○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習Ⅰ ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ	
	2		学外実習の巡回指導 (主に火曜を想定)	自己表現研究Ⅰ				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	関係行政論※		卒業研究Ⅰ(心理)				健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)		臨床心理学面接特論Ⅰ		
	5							
	6							

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
後 期	1		臨床心理学特論※		○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習Ⅰ ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ	
	2	司法・犯罪心理学		自己表現研究Ⅱ				健康科学特別研究Ⅱ①
	3			学外実習の巡回指導 (主に水曜を想定)				健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅱ(心理)				司法・犯罪心理学特論	
	5		卒業研究Ⅳ(心理)					
	6							

田中 芳幸

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
前	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)					【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ	
	2						健康科学特別研究Ⅱ①	
	3				卒業研究Ⅰ(心理)		【前半】臨床心理査定演習Ⅰ①※ 【後半】臨床心理査定演習Ⅱ①※	健康科学特別研究Ⅱ②
	4				卒業研究Ⅲ(心理)		【前半】臨床心理査定演習Ⅰ②※ 【後半】臨床心理査定演習Ⅱ②※	
期	5		【後半】医学・健康教育特論※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ	○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習Ⅰ ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)		
	6		【前半】Scientific English※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ			

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1		公認心理師の職責※				【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2	健康・医療心理学					健康科学特別研究Ⅱ①
	3	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)					健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅱ(心理)				
5	卒業研究Ⅳ(心理)		【隔週】健康科学特論Ⅱ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習Ⅰ ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)	
6	健康・生活支援科学特論演習B※		【隔週】健康科学特論Ⅱ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ			

中野 英樹

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1		神経・筋疾患理学療法学基礎演習		物理療法学		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2			キャリア開発演習Ⅰ(理学)			健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅰ		健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5			【隔週】健康科学特論Ⅰ①※		○前期不定期開講(学部)○ ・総合臨床実習Ⅰ	
	6		【前半】Scientific English※	【隔週】健康科学特論Ⅰ②※			

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1		中枢神経障害理学療法学基礎演習				【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		中枢神経障害理学療法学基礎演習	キャリア開発演習Ⅱ(理学)			健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅱ		健康科学特別研究Ⅱ②
期	4				画像診断学(理学)※		
	5	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ※	物理療法学演習			○後期不定期開講(学部)○ ・総合臨床実習Ⅱ	
	6		健康回復支援科学特論演習A※				

濱田 智崇

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前 期	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)				心理学的支援法	
	2			自己表現研究 I			
	3			卒業研究 I (心理)			○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習 I ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習 A (心理実践実習 II) ・臨床心理実習 B
	4			卒業研究 III (心理)			
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後 期	1	学外実習の巡回指導 (主に月曜を想定)	公認心理師の職責※				○通年不定期開講(M1)○ ・心理実践実習 I ○通年不定期開講(M2)○ ・臨床心理実習 A (心理実践実習 II) ・臨床心理実習 B
	2		臨床心理学概論※	自己表現研究 II			
	3						
	4		卒業研究 II (心理)			心理学概論	
	5		卒業研究 IV (心理)			地域課題研究(心理)※	
	6						

前田 洋光

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は現状土曜日に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前期	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2		心理学基礎研究Ⅰ※			広告と消費の心理学	健康科学特別研究Ⅱ①
	3		心理統計学特論	卒業研究Ⅰ(心理)	社会・集団・家族心理学Ⅰ		健康科学特別研究Ⅱ②
	4			卒業研究Ⅲ(心理)			
	5						
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後期	1	社会調査特別演習	社会・集団・家族心理学Ⅱ				【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2			心理学基礎研究Ⅱ※			健康科学特別研究Ⅱ①
	3		卒業研究Ⅱ(心理)			心理学統計法Ⅰ	健康科学特別研究Ⅱ②
	4		卒業研究Ⅳ(心理)				
	5						
	6						

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2			キャリア開発演習Ⅰ(理学)			健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅰ	運動器障害基礎論(理学)※	健康科学特別研究Ⅱ②
	4	運動器障害系理学療法学応用演習					
期	5			【隔週】健康科学特論Ⅰ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】健康科学特論Ⅰ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2						健康科学特別研究Ⅱ①
	3			理学療法技術学Ⅰ(運動器障害)			健康科学特別研究Ⅱ②
	4		運動器障害系理学療法学基礎演習	理学療法技術学Ⅰ(運動器障害)	理学療法技術学入門演習		
期	5		運動器障害系理学療法学基礎演習	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	運動器障害理学療法学特論Ⅱ※	健康回復支援科学特論演習B※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前期	1				義肢装具学演習	生活技術学演習	【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2				義肢装具学演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3		○前期不定期開講(学部)○ ・総合臨床実習Ⅰ		理学療法研究法Ⅰ		健康科学特別研究Ⅱ②
	4	地域課題研究(理学)※					
	5	地域課題研究(理学)※					
	6						

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後期	1	理学療法評価学各論演習					【隔週】健康科学特別研究Ⅰ
	2	理学療法評価学各論演習	○後期不定期開講(学部)○ ・総合臨床実習Ⅱ		生活技術学※		健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅱ		健康科学特別研究Ⅱ②
	4		運動器障害系理学療法学基礎演習				
	5	運動器障害理学療法学特論Ⅰ※	運動器障害系理学療法学基礎演習				
	6		健康回復支援科学特論演習B※				

白岩 加代子

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例：

健康科学部科目

健康科学専攻科目

末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2		ヘルスプロモーション理学療法基礎演習※				健康科学特別研究Ⅱ①
	3	老年期障害理学療法演習	地域理学療法※				健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5	生活環境論※		【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6		生活支援学特論※	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1						【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2				地域理学療法演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3						健康科学特別研究Ⅱ②
期	4		老年期障害基礎論				
	5	生活機能障害理学療法特論Ⅰ※		【隔週】健康科学特論Ⅱ①※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6	生活機能障害理学療法特論Ⅱ※	健康・生活支援科学特論演習A※	【隔週】健康科学特論Ⅱ②※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

横山 茂樹

※「健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は現状水・木・土に設定しているが学生との相談の上、学生と教員の都合に合わせて、柔軟に設定する

凡例： 健康科学部科目 健康科学専攻科目 末尾の※：オムニバス科目

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
前	1				義肢装具学演習		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2	スポーツ障害理学療法学基礎演習			義肢装具学演習		健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅰ		健康科学特別研究Ⅱ②
期	4						
	5		運動機能学特論※	【隔週】健康科学実践研究法特論 ※ 【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

学期	講時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
後	1				スポーツ障害基礎論※		【隔週】健康科学特別研究Ⅰ 【隔週】特別研究Ⅰ
	2				スポーツ障害基礎論※		健康科学特別研究Ⅱ①
	3				理学療法研究法Ⅱ		健康科学特別研究Ⅱ②
期	4	理学療法技術学Ⅳ(スポーツ障害)					
	5	運動器障害理学療法学特論Ⅰ※	スポーツ障害理学療法学応用演習	【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		
	6			【隔週】特別研究Ⅱ	【隔週】特別研究Ⅲ		

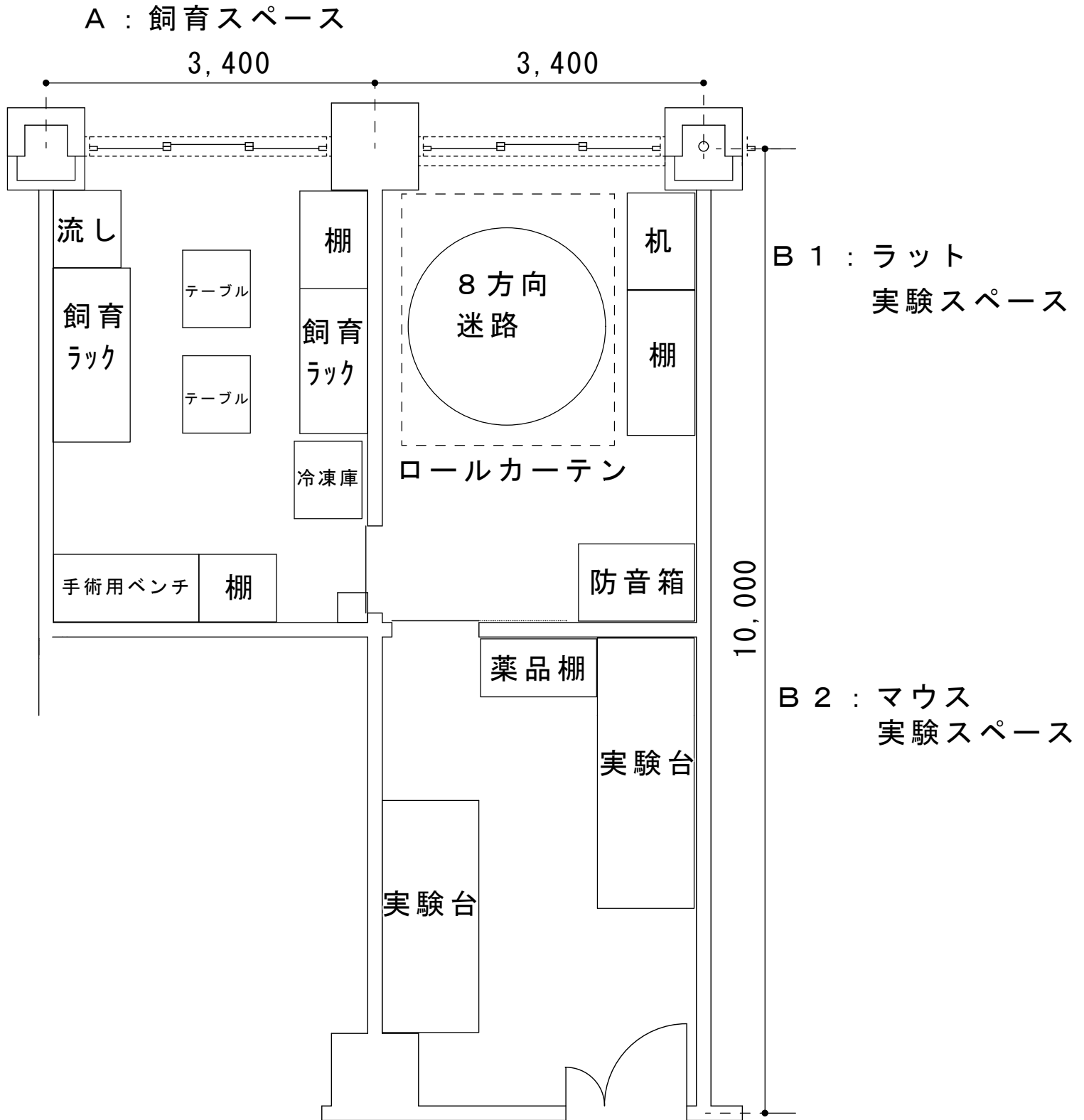
別添資料10 健康科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）開設以降の担当科目数（案）

専任教員	前期科目数 ※()はうちオムニバス科目数				後期科目数 ※()はうちオムニバス科目数			
	健康科学専攻	健康科学部	合計	うち巡回指導を行う科目	健康科学専攻	健康科学部	合計	うち巡回指導を行う科目
上北朋子	5(0)	2(0)	7(0)	-	7(1)	4(0)	11(1)	
菅野 信夫	7(2)	2(0)	9(2)	-	6(1)	3(0)	9(1)	
久保山 一敏	3(3)	4(1)	7(4)	-	2(2)	4(1)	6(3)	
兒玉 隆之	8(3)	2(1)	10(4)	-	7(2)	3(1)	10(3)	
坂本 敏郎	8(3)	4(0)	12(3)	-	6(1)	4(0)	10(1)	
崎田 正博	6(1)	4(2)	10(3)	-	7(2)	4(1)	11(3)	
柴田 利男	3(0)	4(1)	7(1)	-	4(1)	5(1)	9(2)	
関根 和弘	5(0)	4(2)	9(2)	-	10(5)	2(0)	12(5)	
中西 龍一	4(2)	4(1)	8(3)	-	6(3)	4(1)	10(4)	
永野 光朗	2(0)	5(2)	7(2)	-	3(0)	7(1)	10(1)	
西本 泰久	8(3)	3(1)	11(4)	-	7(2)	2(0)	9(2)	
平出 敦	6(1)	3(1)	9(2)	-	5(0)	3(0)	8(0)	
堀江 淳	7(2)	3(2)	10(4)	-	8(3)	3(0)	11(3)	
松下 幸治	4(2)	4(0)	8(2)	-	5(1)	5(1)	10(2)	
村田 伸	8(3)	3(2)	11(5)	-	7(2)	2(1)	9(3)	
大久保 千恵	3(0)	4(0)	7(0)	2 (健康科学専攻博士前期課程)	4(1)	6(1)	10(2)	2 (健康科学専攻博士前期課程)
甲斐 義浩	6(1)	4(1)	10(2)	-	6(1)	4(1)	10(2)	
岸 太一	9(4)	3(1)	12(5)	2 (健康科学専攻博士前期課程)	6(2)	3(1)	9(3)	2 (健康科学専攻博士前期課程)
ジェイムス 朋子	5(0)	4(1)	9(1)	2 (健康科学専攻博士前期課程)	6(1)	4(0)	10(1)	2 (健康科学専攻博士前期課程)
田中 芳幸	11(4)	2(0)	13(4)	2 (健康科学専攻博士前期課程)	9(2)	4(1)	13(3)	2 (健康科学専攻博士前期課程)
中野 英樹	4(1)	5(0)	9(1)	1 (健康科学部理学療法学科)	4(1)	6(1)	10(2)	1 (健康科学部理学療法学科)
濱田 智崇	3(0)	4(0)	7(0)	2 (健康科学専攻博士前期課程)	3(0)	7(3)	10(3)	2 (健康科学専攻博士前期課程)
前田 洋光	3(0)	5(1)	8(1)	-	3(0)	5(1)	8(1)	
宮崎 純弥	6(1)	4(1)	10(2)	-	7(2)	3(0)	10(2)	
安彦 鉄平	2(0)	5(1)	7(1)	1 (健康科学部理学療法学科)	4(2)	5(1)	9(3)	1 (健康科学部理学療法学科)
白岩 加代子	6(1)	4(3)	10(4)	-	9(4)	2(0)	11(4)	
横山 茂樹	7(2)	3(0)	10(2)	-	6(1)	4(1)	10(2)	

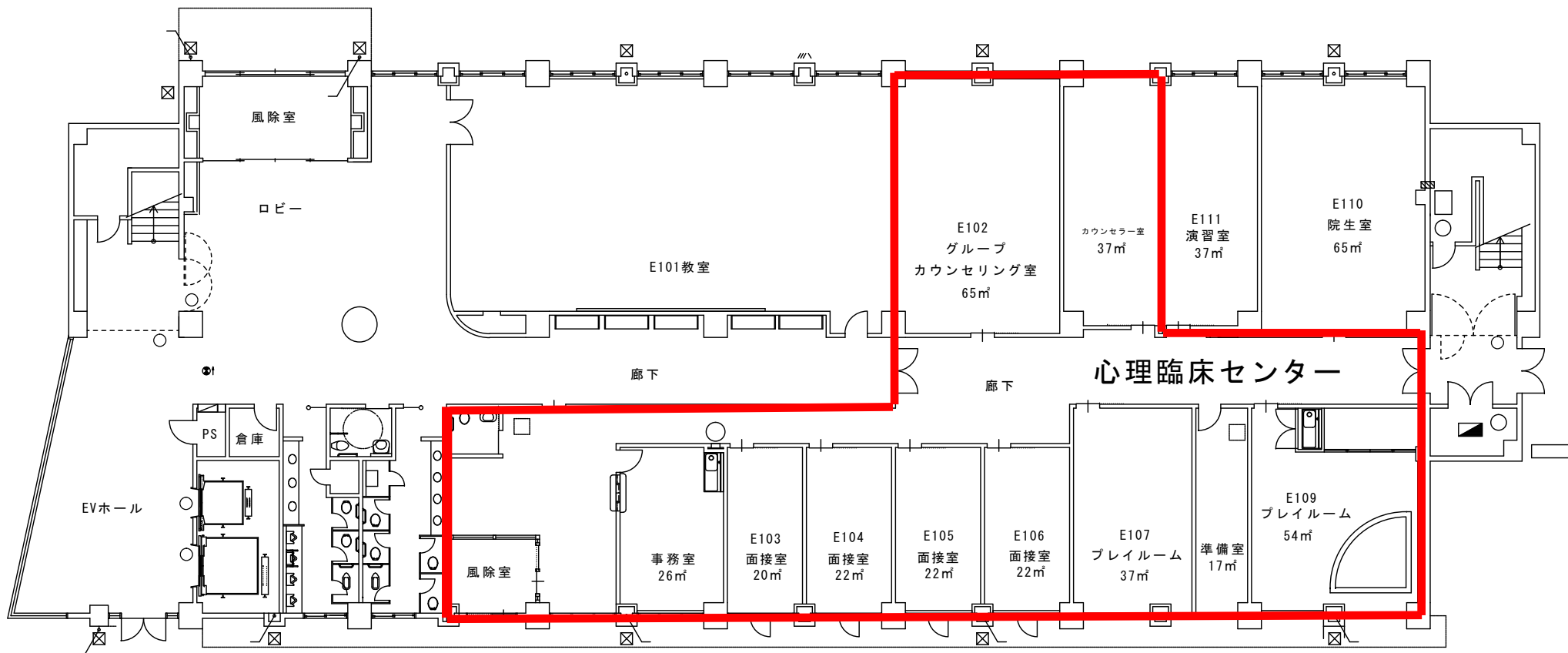
担当教員	学外 実習施設	分野	実習科目	学生の実習期間・頻度	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				
					1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W					
濱田 智崇	児童心理治療 施設ひびき	福祉	心理実践実習 I	右記 いずれか	1-2月 期間内に5時間×3日																																									月							
					2-3月 期間内に5時間×3日																																									月							
			臨床心理実習A (心理実践実習 II)	右記 いずれか	4-5月 期間内に5時間×3日				月																																												
					9-10月 期間内に5時間×3日																								月																								
	高槻病院	産業・労働	心理実践実習 I	右記 いずれか	1-2月 期間内に5時間×3日																																													月			
					2-3月 期間内に5時間×3日																																									月							
			臨床心理実習A (心理実践実習 II)	右記 いずれか	4-5月 期間内に5時間×3日				月																																												
					9-10月 期間内に5時間×3日																								月																								
		保健医療	心理実践実習 I		2-3月 期間内に7時間×5日																																											月					
			臨床心理実習A (心理実践実習 II)		5-9月 期間内に7時間×15日							月				月				月				月																													
宇治市不登校 児童生徒自立 支援教室「Ujiふ れあい教室」	教育	心理実践実習 I		11-12月 期間内に5時間×3日																																																	
		臨床心理実習A (心理実践実習 II)	右記 いずれか	6-7月 期間内に5時間×3日																																																	
				10-11月 期間内に5時間×3日																																					月												

別添資料12 実験室の平面図

優心館5階 E504 実験室



別添資料13 心理臨床センターの平面図 (京都橘大学優心館1階内)



別添資料14 心理臨床センターの主な設備

設備	使用用途
面接室1(E103)	対面式ソファ1セット・ローテーブルと箱庭療法用具を備える面接室で、主に成人のカウンセリングや親面接に使用する。
面接室2(E104)	椅子5脚とテーブルを備える面接室で、主に成人のカウンセリングや親面接に使用する。小グループで行うセッションや心理検査にも対応している。
面接室3(E105)	対面式ソファ1セット・ローテーブルを備える面接室で、主に成人のカウンセリングや親面接に使用する。
面接室4(E106)	可動式椅子4脚と可動式テーブル、箱庭療法用具を備える面接室。部屋の一部は靴を脱いで上がるスペースとなっており、ボードゲームなどの用意もある。小学校高学年から成人までのプレイセラピーやカウンセリングに対応でき、心理検査も可能である。
プレイルーム1(E107)	滑り台や電子オルガン、ままごとキッチン、箱庭療法用具などを備えたプレイルームで、様々な玩具を用意している。幼児から中学生までのプレイルームに幅広く対応しており、どちらかと言えば、静かに遊ぶタイプの子どもや、発達障害等で刺激を少なくした方がよい子ども向きである。子どものグループ活動にも使用している。
プレイルーム2(E109)	砂場、簡易キッチン、ままごとハウス、大型ブロック、箱庭療法用具などを備えたプレイルームで、様々な玩具を用意している。広さがあるため、バドミントンなど簡単なスポーツも可能。幼児から中学生までのプレイルームに幅広く対応しており、どちらかと言えば、体を使って遊ぶタイプの子ども向きである。子どものグループ活動にも使用している。
グループカウンセリング室(E102)	25名程度収容できる部屋で、可動式机と椅子を備える。グループセッションや研修会、ケースカンファレンス、各種会議等、多目的に使用している。
カウンセラー室	机と椅子、パソコン数台を備える。ケースカンファレンスや、実習生がケース記録を記入する場所として使用している。